記者発表資料

令和元年１２月１１日
東北地方整備局
岩手河川国道事務所

銅谷川（どうやがわ）における浸水被害調査結果について

台風19号に伴う大雨で浸水被害が発生した、一関市中央町一丁目の銅谷川（銅谷排水樋門）について、浸水痕跡調査並びに、磐井川及び銅谷川の雨量・水位状況、銅谷排水樋門の操作、内水排除作業などの調査を実施しました。

調査の結果、今回の内水による浸水被害については、樋門ゲート操作判断のために必要となる情報が関係者の間で共有できなかったため、ゲートを開ける操作のタイミングが遅れたことが原因であると判断しました。

これを受け、令和元年12月9日（月）、浸水があった範囲にお住まいの方々に、浸水痕跡調査結果、及び今後の対応（浸水家屋等被害調査、内水被害軽減策の検討など）について説明しましたので、お知らせします。

■浸水痕跡調査結果
浸水面積　：　約12，500m2
浸水家屋数：　床上浸水：15棟、床下浸水：7棟

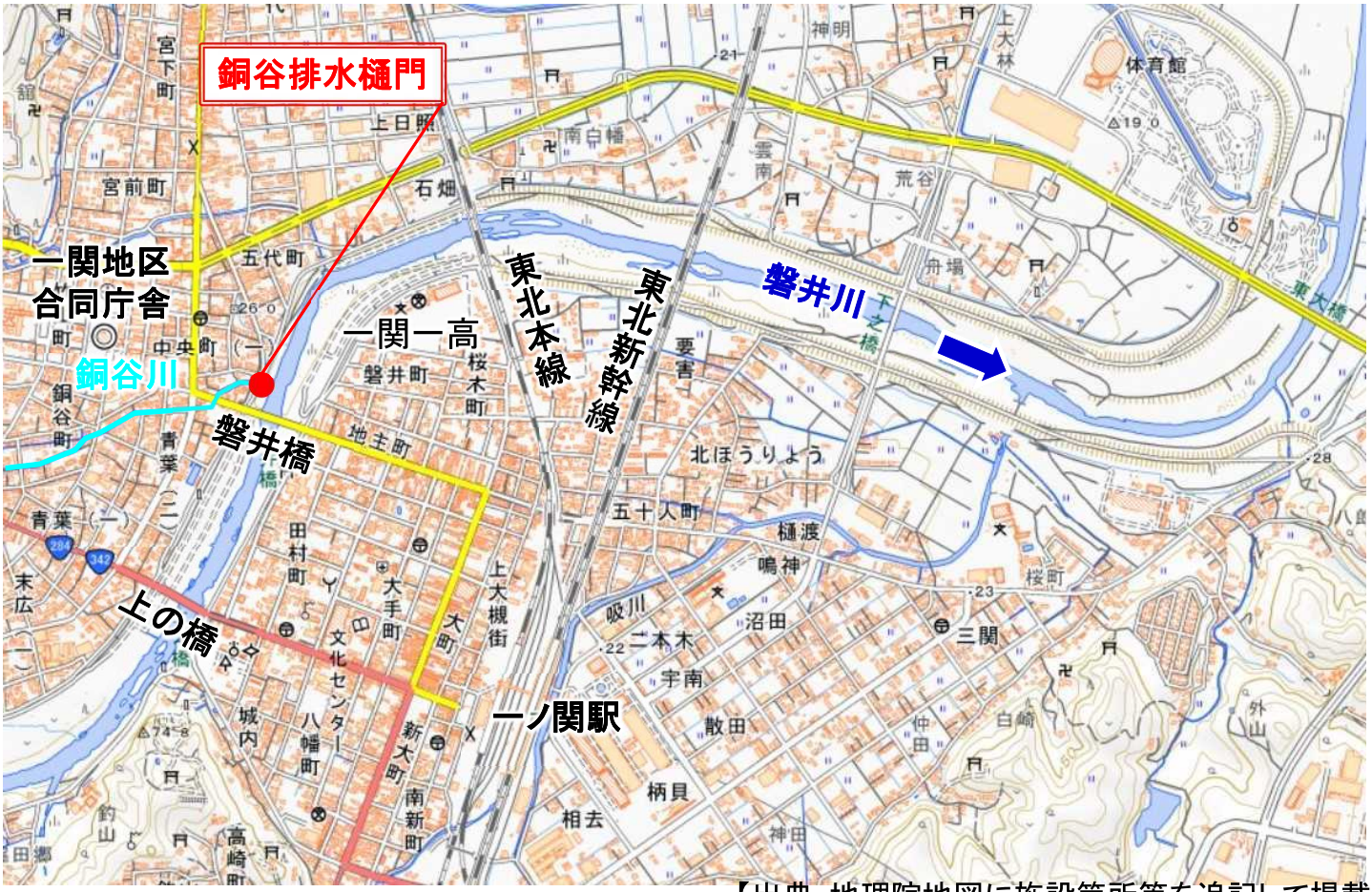
■銅谷川の浸水痕跡調査等に関する説明会
実施日時：令和元年12月9日（月）　18:30 ～ 20:00
実施場所：一関市役所
参 加 者 ：浸水があった範囲にお住まいの方々　24名（19世帯）

■今後の対応について
(1)浸水家屋等被害調査の実施
・浸水があった範囲にお住まいの方々を対象に、浸水により発生した被害の詳細調査を12月中旬から実施予定
(2)内水被害軽減に向けた対策の検討
・操作・連絡体制の見直し、水位情報の共有化、樋門の無動力化 等

〈発表記者会：岩手県政記者クラブ・一関市政記者クラブ〉

＜問い合わせ先＞
国土交通省　東北地方整備局　岩手河川国道事務所
副所長（河川）　堀井（ホリイ）　一保（カズヤス）（内線204）　（電話：019-624-3131）

（参考1）銅谷排水樋門 【位置図】



【出典：地理院地図に施設箇所等を追記して掲載】

（参考2）銅谷川周辺の浸水範囲

